

# 例会報告：2013年3月5日（晴れ）第1788回年通常例会

【続き】くれたのは決して豊かな国ばかりとは限りませんでした。それはどうしてかという、同じ人間として困っている人には可愛そうだという気持ちがあるからではないでしょうか。次年度のテーマは「ロータリーを实践し、みんなに豊かな人生を」といいます。みんなに豊かな人生をという人生が変わるのは奉仕された人だけと感じますが、これは人に奉仕することによって自分が豊かになるのだと思います。貴クラブの皆さんがこれからも国際奉仕の活動に精力的に取り組まれることをお願いして今日のお話を終わらせて頂きたいと思ひます。

## ◆ ビジター

松本 俊輔様 (小田原RC)

## ◆ 会員誕生日

高橋 哲也さん (3月8日)  
須藤 公司さん (3月11日)

## ◆ 結婚記念日

三宅 公常さん (3月11日)  
木村 頼弘さん (3月11日)

## ◆ 奥様誕生日

田代 俊江さん (3月6日)  
小林 真砂美さん (3月7日)

## ◆ ニコニコ箱

剣持 悟委員

	ニコニコ箱	累計	目標
3月5日分	17,000	710,040	1,300,000

### \* ビジター

松本 俊輔様 (小田原RC) …前回メーキャップの時はありがとうございました。本日よろしくお願ひ致します。

### \* 会員誕生日

須藤 公司さん…本日は、誕生日祝ひありがとうございます。又、先日は娘がお世話になりました

### \* 結婚記念日

三宅 公常さん…結婚記念日を祝ひいただきありがとうございます。

木村 頼弘さん…結婚日を祝ひいただきありがとうございます。何年たったか忘れましたが、幸せです。

### \* 奥様誕生日

田代 博信さん…家内の誕生日を祝ひいただきありがとうございます。

### \* その他

清 康夫さん…3月3日、小田原法人会、川東支部にて東京スカイツリーの見学に38名の参加にて行って来ました。とても感動しましたので、支部長として少々。

河野 秀雄さん…ロータリークラブの財団国際親善奨学金の恩を忘れず、今では真のロータリアンに成られております。これからもずっと私は高木先生のファンでいさせてくださいませ。

本多 純二さん…地区国際奉仕委員長の高木様をお招きしました。どうぞよろしくお願ひします。



RAC  
会員募集中

相応しい会員をご紹介ください！

## ■ ■ ■ 今後のメーキャップ情報 ■ ■ ■

- ▶ 13日(水) 小田原北 報徳会館 12:30  
「会員卓話」
- ▶ 14日(木) 小田原中 報徳会館 12:30  
「卓話:石川 学会員/自己紹介」
- ▶ 15日(金) 湯河原 ニューウエルシティ湯河原 12:30  
「卓話:石川 博会員」  
足柄 おんりーゆー 12:30  
「会員卓話/青春そして今」
- ▶ 18日(月) 小田原 特別休会
- ▶ 19日(火) 箱根 宮ノ下富士屋ホテル 12:30  
「卓話:澤田 利雄会員」
- ▶ 20日(水) 小田原北 休会  
小田原城北ローターアクトクラブ マロニエ広場9:00~15:00  
「フリーマーケット」 ※雨天中止
- ▶ 21日(木) 小田原中 移動例会 MU受付なし
- ▶ 22日(金) 湯河原 ニューウエルシティ湯河原 12:30  
「卓話:石川 博会員」  
足柄 おんりーゆー 12:30  
「卓話:柿沼会長エレクト/PETSを終えて」
- ▶ 25日(月) 小田原 報徳会館 12:30  
「卓話:工藤光和会員/金融機関のリスク管理」
- ▶ 26日(火) 箱根 宮ノ下富士屋ホテル 18:00  
「卓話:川辺 ハルト会員」
- ▶ 27日(水) 小田原北 報徳会館 12:30  
「会員卓話」
- ▶ 28日(木) 小田原中 報徳会館 12:30  
「クラブ・フォーラム:PETS報告」
- ▶ 29日(金) 湯河原 休会  
足柄 おんりーゆー 12:30  
「会員卓話/青春そして今」

【小田原城北ロータリー・クラブ】  
事務局：〒250-0211 小田原市鬼柳172-9  
電話：0465-37-1222 FAX：0465-37-7377  
URL：http://www.odawarajhrc.jp  
Mail：info@odawarajhrc.jp  
例会会場：小田原卸センター内会議室  
創立：1976年4月2日 承認：1976年5月8日  
例会：毎週火曜日 12:30~13:30  
クラブ会報委員会  
監修：久保田 知子  
編集長：須賀 俊和  
コピーライター：大川 誠  
デザイン：小林 和彦  
フィールド：須藤 公司・小楠 雅昭

会員数：49名



国際ロータリー第2780地区

# 小田原城北ロータリー・クラブ

R.I. DISTRICT No.2780  
ODAWARA JOHOKU R.C.  
2012-2013  
WEEKLY BULLETIN



【R. I. 会長】  
田中 作次  
【R.I. 2780地区ガバナー】  
菅原 光志  
【第9グループガバナー補佐】  
鈴木 悌介



【会長】小嶋 章司  
【副会長】中野 明  
【幹事】久保田 知子  
【副幹事】大川 久弥  
【会場監督】清 康夫

## 奉仕を通じて平和を PEACE THROUGH SERVICE

### 本日の例会：通常例会（第1789回）

会場：小田原卸センター内会議室  
日時：2013年3月12日 12:30~13:30  
司会：大川 久弥 副幹事

12:30	開会点鐘：小嶋 章司 会長 ローターソング斉唱「我等の生業」 スピーカーおよびビジターの紹介 慶事祝福 会長挨拶 幹事報告／出席報告／委員会報告 同好会報告／ニコニコ箱
13:00	担当：会員増強委員会 卓話：高橋 哲也会員・大川 裕会員 「新会員イニシエーションスピーチ」
13:30	閉会点鐘：小嶋 章司 会長

### 寄稿 (4/7)

私は職業奉仕についてこう考える。  
・事業を成功させ人に尽くせる事を喜びと感ずる事  
・その為には寛容、親睦、奉仕のすべてを实践する  
・和もって利益を生み出し地域ニーズに答える  
・世の為人の為に成る事を目指し企業努力する  
・家業に職業倫理を保ち、企業として社会に役立つ事を

いろいろと職業奉仕についてのとらえ方はありますが、ロータリアンは職業を通じて社会に奉仕する であります。ロータリーは自己の為に利益を得ようとする欲望と他人に奉仕する義務感とそれに伴う衝動との間の常に起こる争を和解させ様とする人生哲学であり、公的な善と私的な善の一致であり、最も良く奉仕する者、最も多く報られるという職業倫理に基づいています。

河野 秀雄

## 今見つめ直そう不易なるものと流行

### 【今後の例会・卓話スケジュール】

#### 3月19日 通常例会 12:30

担当：小嶋章司会長

卓話：秋山里奈様  
明治大学 法学研究科博士前期課程2年  
伊勢原市出身

「ロンドンパラリンピック競泳女子100m背泳ぎ金メダリスト」



#### 3月26日 通常例会 12:30 (クラブ協議会)

担当：執行部

卓話：露木 清勝会長エレクト

「PETS報告」

#### 4月2日 夜間移動例会 門松17:10 (創立記念)

担当：執行部

卓話：小林 泰二会員

「未定」

#### 4月9日 通常例会 12:30

担当：小嶋 章司会長

卓話：片山 清宏様／松下政経塾第31期生

「未定」



【小田原フラワーガーデンの梅】  
当ロータリークラブの25周年の時に寄贈した梅です。(金山会員3月9日撮影)

# 例会報告：2013年3月5日（晴れ）第1788回年通常例会

会場：小田原卸センター内会議室  
時間：12:30～13:30

## ❖ 会長挨拶

「救われた早離と即離」

小嶋 章司 会長



早離と即離は幼い兄弟でした。両親と早く死別したので毎日泣いていると、ある心の良くない男が、父母に会わせてやるからこの小舟に乗れと誘いました。二人はだまされているとも知らずその船にのりました。小舟は沖合遙かに遠くに浮かぶ、名もない小島につけられて、幼い二人を降ろすとその男は船をこいでもとへ帰ってしまいました。

二人の子供は狭い島の中をかけめぐって、両親を捜しましたがいるわけがない。ついに飢えと疲れでその島で果ててしまいます。

臨終に際して弟の即離は、自分たち兄弟の薄命を嘆きました。黙って聞いていた兄の早離は、弟をなだめていった。「私もはじめは世を呪い人を恨んだが、この離れ小島ではどうにもならない。ただ身をもって学んだことは、親に早く分かれ人にだまされることの悲しさと、飢えと疲れの苦しきである。

されば、次にこの世に生まれてくるときは、この苦悩の体験を縁して、同じ悲運に泣く人たちを救ってゆこう。他の人を慰めることが、自分がなぐさめられる道理であることを、我々は学んだはないか」と弟即離に話した。

弟は、はじめて兄の言葉を理解すると、はればれとした顔になり、お互い抱き合っただけ息絶えてしまったが、二人の顔にははずかな明るいほほえみが浮かんでいたという。

兄が観世音菩薩(かんぜおんぼさつ)・弟が勢至菩薩(せいしぼさつ)であった。この島が補陀落山(ふだちらくせん)だそうです。補陀落山(ふだちらくせん)とは、観世音菩薩の所在が南方海上の山とされ、南インドの海岸とされているそうです。

この話はセイロンからビルマ・タイへと伝わった、パリ一語の「仏教聖典」いわゆる「南伝大蔵経(南から伝わっただいぞうきょう)」のシリーズ「華嚴経(けんぎよきょう)」にある悲しくて美しい説話であります。

古い物語であります。仲間に対する友情と悩める人に対する同情にも人格化したものであり、近代人の思索に呼びかける心理を備えていると思います。

現在も一部の企業や高校でこの話を社訓・校訓にしているとのこと。



## ❖ 幹事報告

久保田 知子 幹事



1)事務局のパソコンが大分古くなりましたので、北クラブと折半で購入することになりました。  
2)ローターアクトの現幹事の木村なおみさんがGSEで派遣されますので、彼女に饗別をお渡しすることを決定いたしました。

## ❖ 出席報告

中野 明副会長

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
3月5日	49(49)	41	0	83.67%
2月26日	49(47)	40	2	87.23%
2月19日	49(48)	41	2	89.58%

【欠席者】 8名

志澤 昌彦、阿久津 肇、上田 博和、太田 忠、高橋 哲也、木村 啓滋、石橋 徹、大川 裕

【今回MU】 なし

【前回MU】 増加なし

【前々回MU】 増加なし

## ❖ 委員会報告

指導者育成委員会・・・石崎 孝委員長

今日皆さんのボックスに施設見学会のご案内を入れさせていただきました。東京の相撲の5月場所を見ようという事で企画をさせていただきました。締め切りは3月28日までということで、バス1台です。40名で考えております。お早目に申し込みを頂きまして、皆様方のご参加をお願いしたいと思っております。

金山 慶昭次年度幹事

次年度、理事・役員の皆様方にお知らせをさせていただきます。この後例会終了後に隣の談話室の方で第1回の次年度準備理事会を開催させて頂きたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

## ❖ 同好会報告

ゴルフ同好会・・・杉崎 勝成委員

第3回のゴルフコンペのご案内をさせていただきます。同好会の皆様のお手元には資料をお渡ししていると思っておりますが、場所は富士小山ゴルフクラブです。日にちは4月11日です。ぜひ参加の方をお願い申し上げます。

## ❖ Table Flower

- フリージア
- チューリップ
- マーガレット
- スイトピー

フリージアの花言葉は「無邪気」「清香」「慈愛」  
チューリップの花言葉は「博愛」「思いやり」「名声」  
マーガレットの花言葉は「誠実」「真実の友情」  
スイトピーの花言葉は、「ほのかな喜び」



## ❖ 卓話

「未来の夢計画と国際奉仕」

地区国際奉仕委員会 委員長 高木 直之様



私は1987年国際親善奨学金を頂いて、アメリカのニューハンプシャーという所に留学させて頂きました。そこで英語教育を勉強してその後5年間カリフォルニアにいて博士号を取り1年間アラバマでポスドクというのをやって、1984年に日本に帰ってきました。

私の人生を決めたのがその時に頂いた奨学金で、それがなければ私は今の生活が無かったと思い、それ以来ロータリーに恩を感じております。その当時に頂いたお金がだいたい11000ドル位(230～240万円位)でした。その当時ポリオプラスが始まりました。その時1人にワクチンを打つのに1ドルでした。つまり僕に奨学金をやる代わりにワクチンを打っていたら、11000人位の方がポリオワクチンを打てたのです。その時には全く考えませんでした。今51才になってロータリーの仕組みを知ると、何らかの道義的責任があるのではないかなと思います。

地区で国際奉仕委員長をさせて頂いていますが、一生私はやっていかなければいけないことだろうなと思っております。今ロータリーは戦略計画をもとに事が進んでおり3つの柱があります。

・クラブのサポートと強化、クラブを支援してたくさんの奉仕活動が出来るようにしましょう。

・人道的奉仕の重点化と増加、人道的奉仕に力を入れましょう。  
・公共イメージと認知度の向上、ロータリーというものを広めよう。

この3つがRIの方針です。その国際ロータリーのロータリー財団の補助金のシステムの事が「未来の夢計画」なのです。来年度からロータリー財団の補助金システムは未来の夢計画に従ってお金が払われる事になります。その最大の特徴は選択と集中と言って良いと思います。我々の持っている奉仕の資源を人道奉仕に集中しましょうというのが今のRIの方針のようです。ですからポリオと平和フェロー以外はあらゆるプログラムが廃止になります。人道的6つの分野にロータリーは奉仕の理想図を結集しましょうというようになっております。後は補助金システムの簡素化ということで、今迄のマッチンググランドを2本立てにします。グローバル補助金と地区補助金という2つの補助金の体制に持っていきます。6つの重点分野から言いますと、「平和の中で、健康で文化的な最低限度の生活を！」\*平和と紛争予防/紛争解決\*疾病予防と治療\*水と衛生設備\*母子の健康\*基本的教育と識字率の向上\*経済と地域社会の発展。これが6つの重点分野になっております。これに関わる分野にロータリーの資源を集中しましょうというのが、今後ロータリーの行こうとしている道だと思えます。「グローバル補助金」というのはどうしたものかと、DDFの50パーセント以上が使えろと決まっております。6つの重点分野に関わる大規模プロジェクトをこれにしましょう。地区のDDFからクラブの予算にはロータリー財団のワールドファンドからマッチングが受けられます。DDFの場合は同額を、その他、例えばクラブが2000ドル出したら1000ドルというように半分がマッチングされます。その合計が3万ドル以上のプロジェクトをグローバル補助金で賄いましょうということです。これの申請はロータリー財団が直接審査します。このグローバル補助金は海外のクラブもしくは地区との連携がどうしても必要です。ですからロータリーの無い国や地域では活動が出来ません。このDDFを使って6つの重点分野に関われば奨学金、職業研修チームを出しても良いというルールになっております。地区補助金ですがこれはDDFの最大50パーセントまで使う事が出来ます。これは地区の裁量で決定します。社会奉仕、国際奉仕共可能ですが、やはり6つの

重点分野に関わるような人道的なものが推奨されているようです。非ロータリー国での実施も可能です。6つの重点分野以外奨学金を出すこともできますし、大学以外でもOKです。従来型のGSEですが期間の定めも無いし、交換しなくても良いしとちょっとゆるくなります。そういう特徴を持っているのが地区補助金です。13～14年の地区の計画ですが、グローバル補助金は今の所奨学金2名を予定しております。この奨学金を出すためには海外の地区がそのプロジェクトと一緒にやるよと受け入れてくれないといけません。これを探るのが昔はロータリー財団がやっておりましたが、今度は自分たちでなくてはなりません。それで色々な地区で苦労しているようです。毎年地区が直轄するグローバルグラントの何か活動しようという約束になっており、次年度はインドのラダックでの識字プロジェクトをやろうと思えます。あと職業研修チームですが、口蓋裂の手術をする技術を日本に呼んで訓練をするというのを横須賀クラブがやるようです。地区補助金では、地区レベルで被災地に補助金を出して行うというのと、色々なクラブから出てきたものを現在審査中ですが、国際奉仕は無いようです。これから地区はどのようにしていくかという、せっかく補助金のシステムがあるので、広報などでこういったシステムですよとお知らせをして、なるべくたくさんの方々に応募して頂き、未来の夢計画の下での補助金をどんどん使って頂くようにすることと、国際奉仕はどのようにすれば良いのかというお話をさせて頂くことと、色々な所を通して寄せられた声からプロジェクトの紹介をさせて頂くということと、グローバル補助金は申請が面倒なので申請のサポートも地区の方でさせて頂こうと思っております。それから地区直轄プロジェクトへの招待。これはせっかく地区でやるプロジェクトなので各クラブの皆さんに参加をお願いして、グローバルグラントを使った国際奉仕プロジェクトの勉強会をして頂く、国際奉仕の学校というような形で地区レベルでの指導者を育成しなければいけないということです。国際奉仕のヒントは、結局は人と人の繋がりだと思います。地区・ガバナーの絆、GSEによる絆、姉妹クラブとの絆、財団学友が務めるNGOとの絆、米山学友との絆、会員の職業上との絆、地区内他クラブとの絆などの繋がりがあれば有効な国際奉仕が出来るのではないかと考えております。地区ではラダックでの識字プロジェクトを行いますが、グローバル補助金をやるには6つの重点分野に関わっていないなければならないということで、識字教育でするので大丈夫です。持続性のあるプロジェクトですが、これはセンターで教わった人が今度は先生になるという事で次々に継続していけます。継続事業は駄目となっておりますが、村が点在していますので継続事業にはならないと思えます。成果と測定が可能。これは何人字が読めるようになったかを数えれば良いのですから、簡単です。海外クラブとの協力はデリーのロータリークラブと一緒にやる事が決まっております。ロータリアンの関与ということで、なかなかあそこに行けないのでここが最大の問題ですが、文通をしようとは考えております。今度の地区協議会でもお話をしますが、例えばこちらのクラブが20万円出そうという財団から10万円来ます。そうすると30万円分地区の補助金を使わなくても良いのです。そんなような形で頂いたお金を次年度に回すということも可能です。こういった所に入って、このように申請するのだ、こういう面白い事があるのだなどの気持ちになってくれれば幸いです。結局人間の行動というのは心が決めるのだと思えます。どうして国際奉仕なのか、もうすぐ東日本大震災から2年になります。その時に日本にお金を【続く】

